2015年3月期　決算説明会

2015年5月21日

あすか製薬株式会社

2015年3月期　連結決算概要

あすか製薬株式会社
専務取締役　丸尾　篤嗣

2014年度 主要トピックス

	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期
ジェネリック発売	●		●	
カンデサルタンAG発売		●		
セオリアファーマ物流業務終了		●		
セルタッチ販売終了		●		
川崎・西東京事業所統合			●	
ルテウム膣用坐剤申請				●
アナリスト向け工場見学会の実施				●
いわき第四製剤棟着工				●

損益計算書(連結)

単位:百万円	2014年3月期	2015年3月期	増減額	増減率
売上高	39,501	42,907	3,406	8.6%
売上原価	22,431	25,713	3,282	14.6%
売上総利益	17,069	17,193	124	0.7%
販売費及び一般管理費	16,353	15,767	△ 586	△ 3.6%
営業利益	716	1,425	709	99.1%
経常利益	1,031	1,722	691	67.0%
税金等調整前当期純利益	947	1,688	741	78.2%
当期純利益	495	1,193	698	140.9%

事業別売上高（連結）

単位：百万円

	2014年3月期	2015年3月期	構成比	増減額	増減率
医療用医薬品	35,598	38,924	90.7%	3,326	9.3%
動物用医薬品	3,619	3,710	8.7%	91	2.5%
その他	283	272	0.6%	△ 11	△ 4.0%
合計	39,501	42,907	100.0%	3,406	8.6%

主要製品売上高

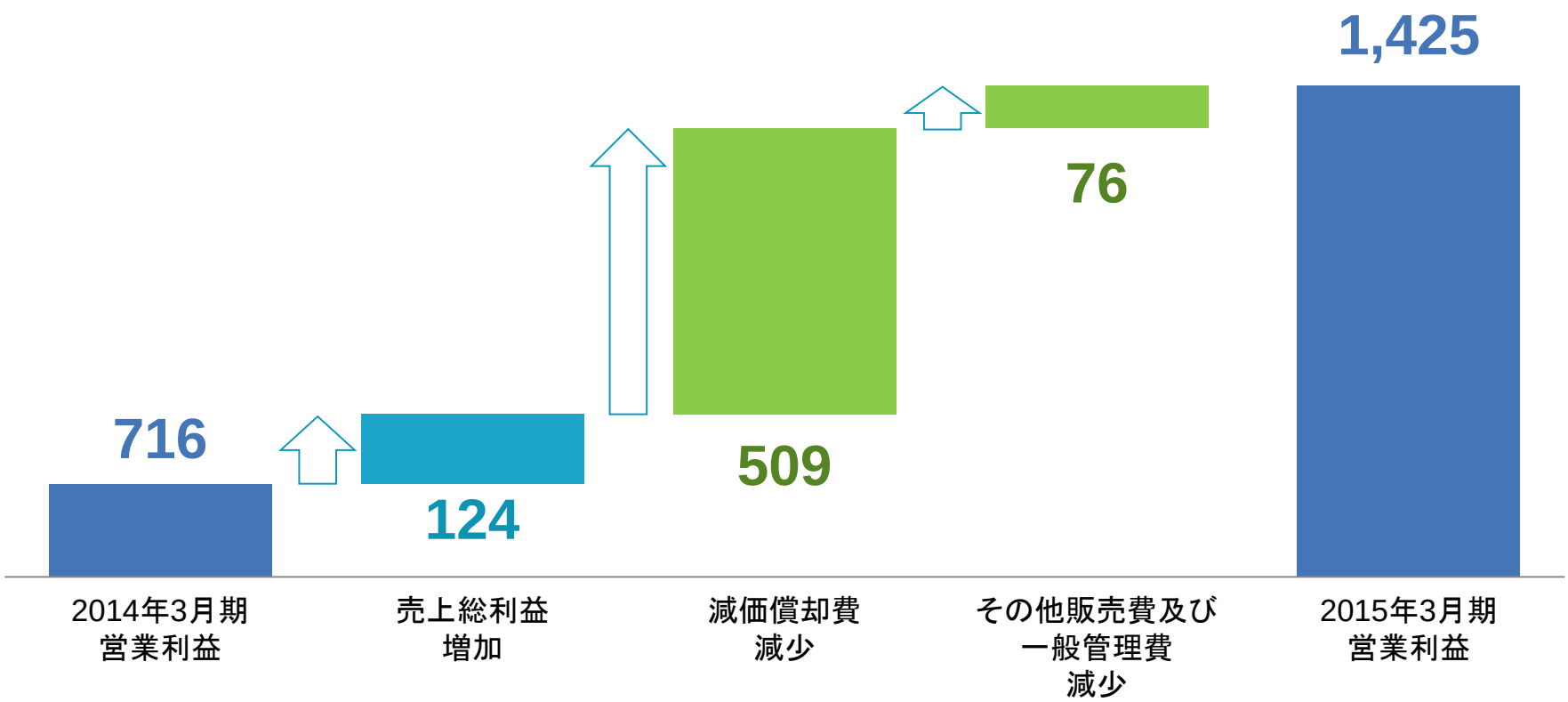
単位：百万円

領域	製品	2014年3月期	2015年3月期		2016年3月期	
		実績	実績	前同比（%）	計画	前同比（%）
内科	※ カンデサルタン	-	5,869	-	9,638	164.2%
	チラーヂン	4,596	4,876	106.1%	5,086	104.3%
	リピディル	4,417	4,484	101.5%	4,620	103.0%
	※ アムロジピン	1,867	1,853	99.3%	1,984	107.1%
	セルタッチ	3,451	1,487	43.1%	-	-
	※ ラベプラゾール	839	953	113.6%	1,128	118.4%
	アルタット	1,194	928	77.7%	719	77.5%
計		(12,913)	(18,963)	146.9%	(23,175)	122.2%
産婦人科	アンジュ	1,224	940	76.8%	1,013	107.8%
	ノルレボ	696	848	121.8%	830	97.9%
	※ ルテオニン	646	680	105.3%	668	98.2%
	メノエイド	529	561	106.0%	590	105.2%
計		(3,095)	(3,029)	97.9%	(3,101)	102.4%
泌尿器科	※ ビカルタミド	2,116	1,925	91.0%	1,973	102.5%
	※ リュープロレリン	320	1,789	559.1%	4,616	258.0%
	プロスタール	1,630	1,296	79.5%	1,099	84.8%
	※ リストリーム	669	723	108.1%	776	107.3%
計		(4,735)	(5,733)	121.1%	(8,464)	147.6%

※ ジェネリック医薬品

営業利益増減分析（対前同）

単位：百万円



要因分析

- **減価償却費の減少**

  製造販売権等無形固定資産の減価償却費が減少

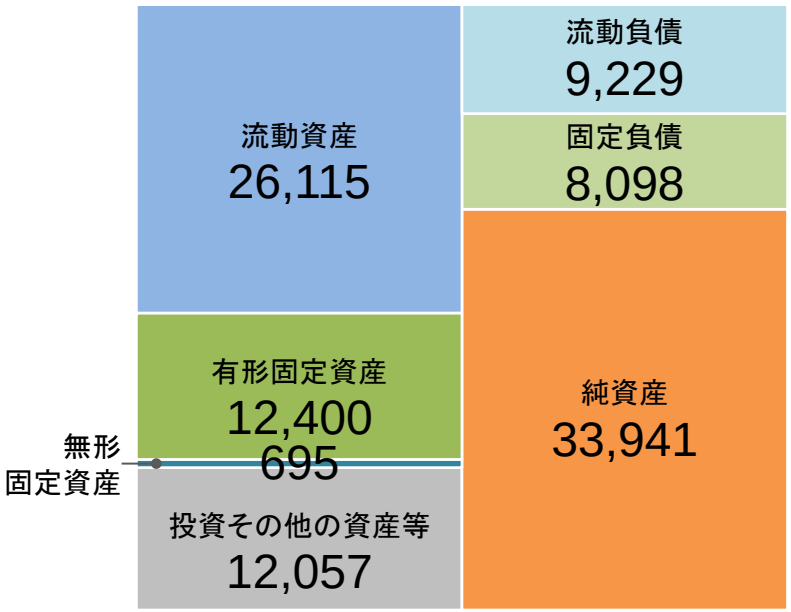
- **その他販売費一般管理費の減少**

  販売促進費及び旅費交通費等の削減

貸借対照表（連結）

2014年3月期末

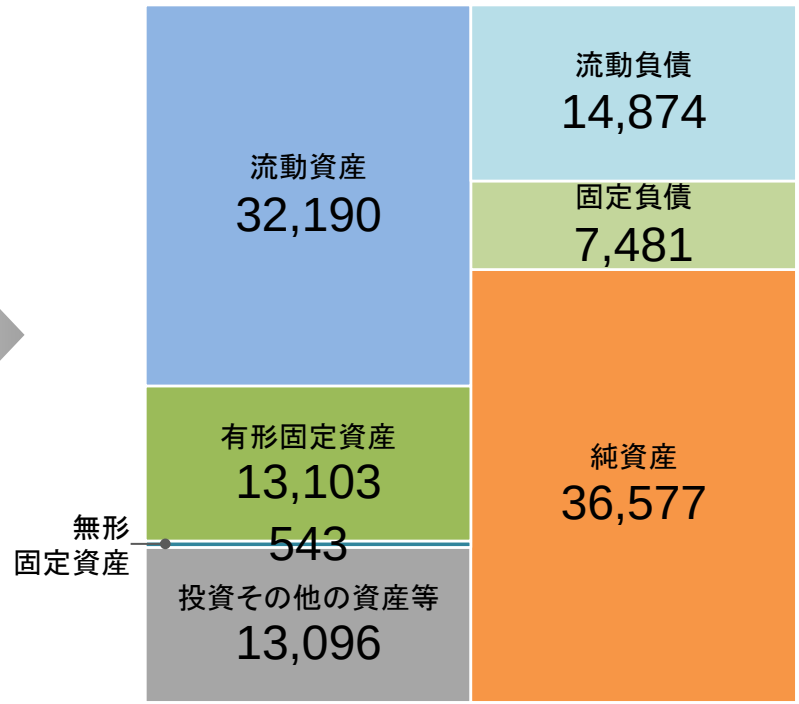
単位：百万円



総資産　51,269百万円

2015年3月期末

単位：百万円



総資産　58,933百万円

	総資産	流動資産	有形固定資産	無形固定資産	投資その他の資産等	流動負債	固定負債	純資産
増減額	7,664	6,075	703	△152	1,039	5,645	△617	2,636

株主還元について

配当方針

- 2015年3月期は、期末配当金を7円とし、中間配当金7円と合わせ年間14円といたします。
- 2016年3月期は、安定配当として年間配当金14円を予定しております。
- 今後の配当につきましては、安定的な配当の継続を基本とし、業績、今後の事業展開および財務状況等を総合的に勘案して実施し、成果の配分を高めるよう努めてまいります。

ASKA PLAN2015
～最終年度の取り組み～

あすか製薬株式会社
代表取締役社長　山口 隆

現在までの進捗状況

中期経営計画の進捗状況

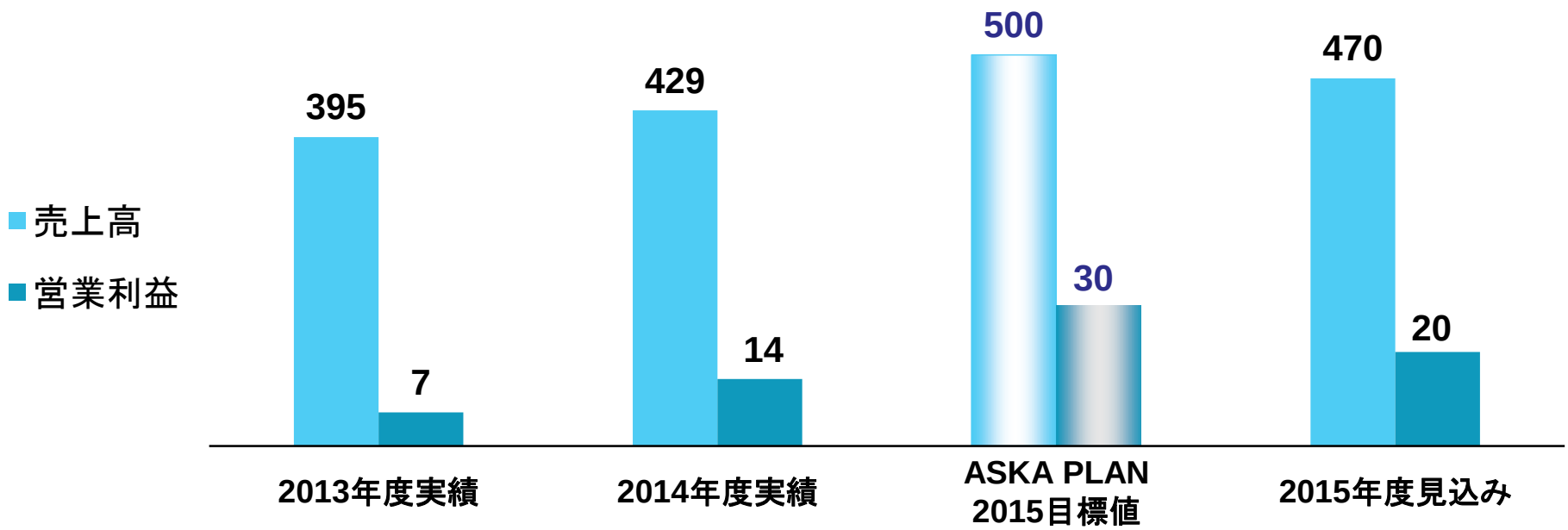
目標	これまでの結果・中計への影響
選択と集中	① 新薬の申請、承継による重点領域の強化 ② ジェネリック事業の推進 カンデサルタンAG、リュープロレリンGEの発売 ③ 事業の再構築 セルタッチ販売終了、セオリアファーマ物流業務終了 あすかアニマルヘルス（株）の分社化
生産性向上とコストの最適化	① いわき工場第四製剤棟の着工 ② 委託品の内製化の推進 ③ 研究所の統合
その他要因	① 2014年薬価改定の影響 (約7%ダウン) ② 製品構成の変化

ASKA PLAN 2015 の進捗振り返り

連結

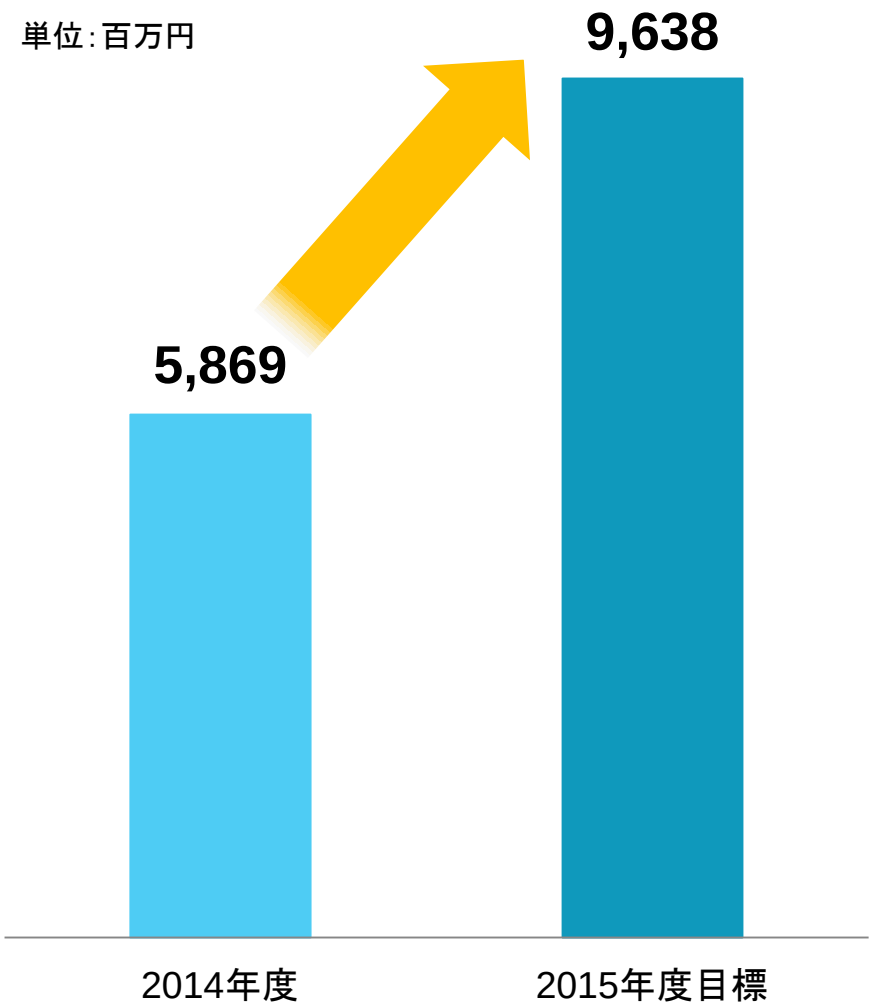
金額:億円

	2013年度実績	2014年度実績	ASKA PLAN 2015目標値	2015年度見込み
売上高	395	429	500	470
営業利益	7.1	14.3	30	20
営業利益率	1.8%	3.3%	6.0%	4.3%



今年度の取り組み

成長ドライバー①　カンデサルタンAG



目標

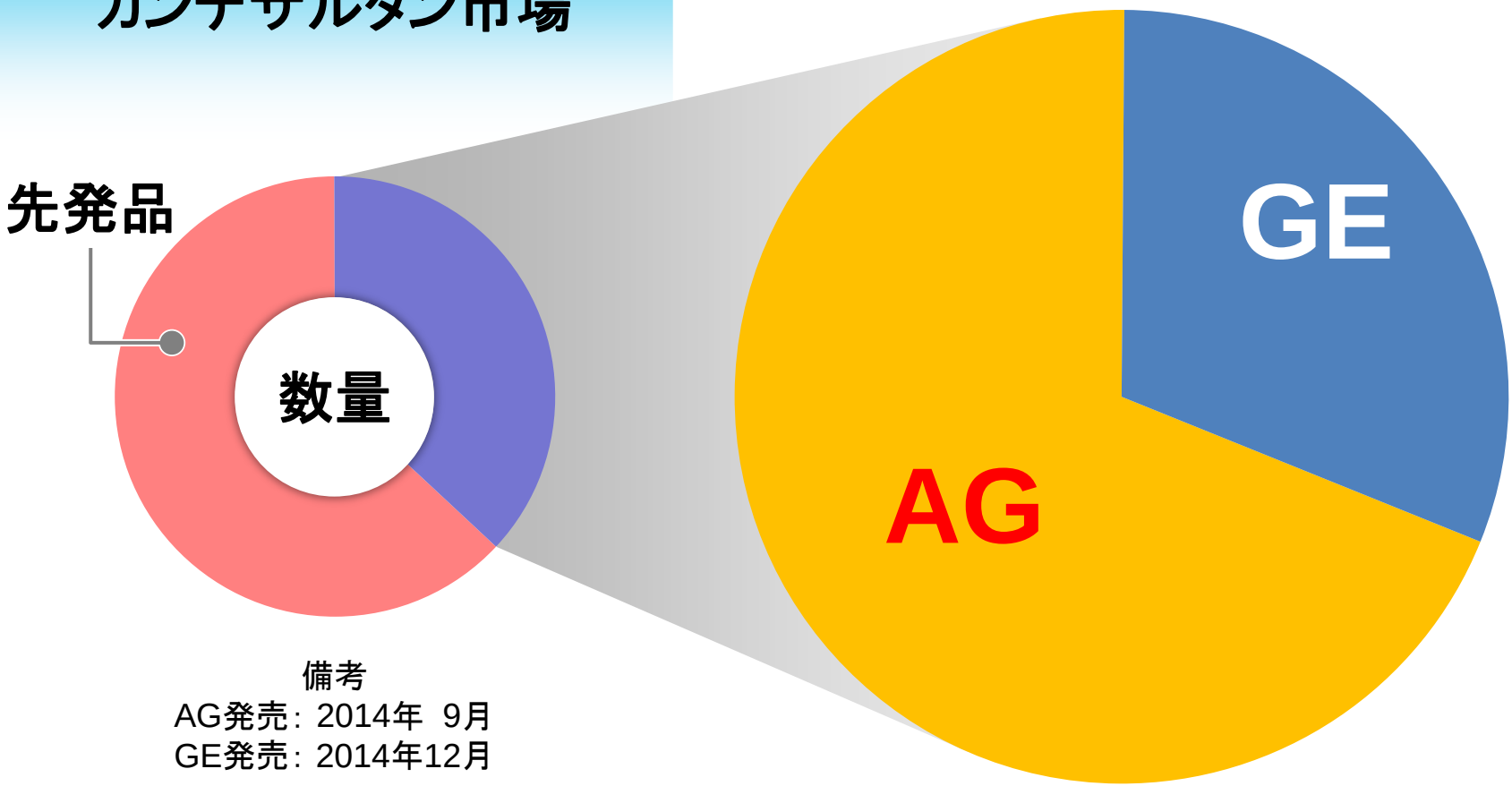
96億3,800万円

- 前年比実績対 64%増
- GE置換え率上昇に
  ともなう実績拡大を図る

カンデサルタン市場シェア（他社GE発売以降）

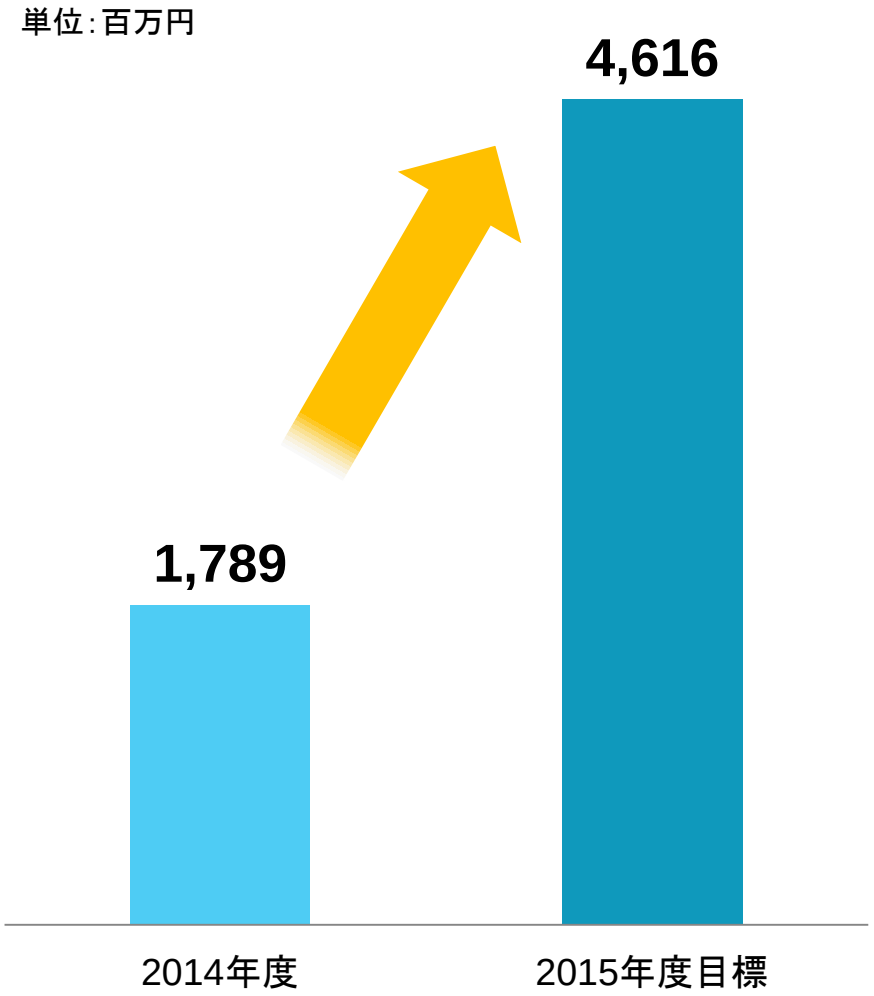
先行メリットを生かし、高シェアを獲得
2015年度も50%以上維持を目指す

カンデサルタン市場



備考
AG発売：2014年　9月
GE発売：2014年12月

成長ドライバー②　リューブロレリン



目標

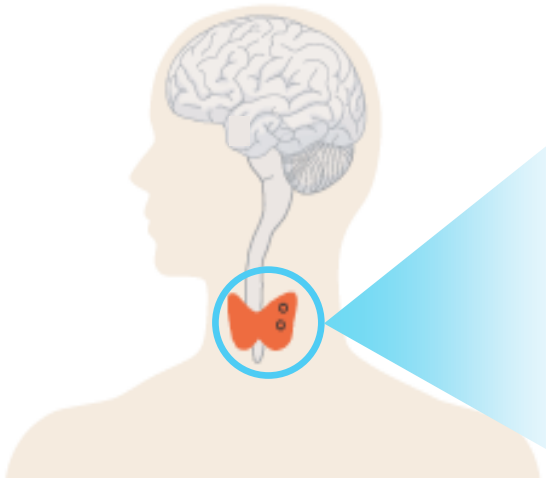
46億1,600万円

- 前年比実績対158%増
- 基幹病院等GE促進先をターゲットに実績拡大を図る
- 泌尿器領域、産婦人科領域のプレゼンス向上につなげる

成長ドライバー③ メルカゾール・プロパジールの承継

甲状腺機能低下症治療剤に加えて亢進症治療剤の獲得により、専門医を中心にプレゼンスを高める

甲状腺の働き



甲状腺ホルモンは、
身体の新陳代謝を
高める大切な役割を果たす

甲状腺ホルモン剤

チラーヂン
甲状腺ホルモンシェア
約97%

約60億
（薬価ベース）

抗甲状腺剤

メルカゾール
プロパジール

中外製薬より承継

内科領域におけるプレゼンスの向上

従来

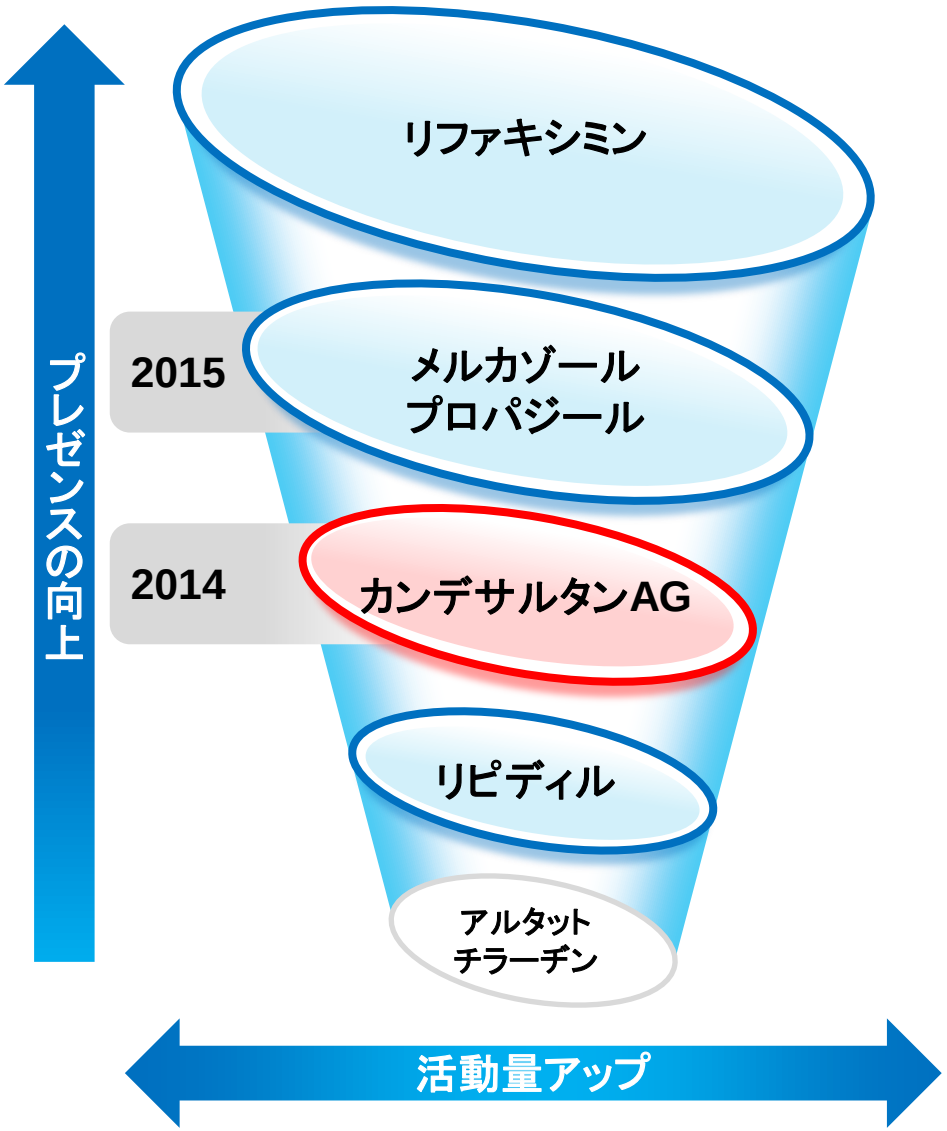
- アルタット、チラーヂン、リピディルを通じて、顧客基盤の強化を進めてきた

2014年度

- カンデサルタンAG発売により、活動量が増え、プレゼンスが向上
- あすかブランド確立の基盤構築

2015年度以降

- 抗甲状腺薬を通じて、あすかブランドの最大化を図り、新薬上市につなげる



産婦人科領域におけるプレゼンス向上

1999
アンジュ

2009
メノエイドコンビパッチ

ワイスからの承継

2011
ノルレボ

2013
リュープロレリン

CDB-2914

2015
ルテウム膣用坐剤

既存薬
（ホルモン製剤）

婦人科用剥離子「ユイノブラシ®」



あすか製薬メディカルを通じて販売

研究開発の状況

次期新製品の開発促進（内科）

研究開発の状況（2015年5月現在）

開発コード／領域・効能	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	申請・承認
L-105（リファキシミン） 肝性脳症			Ph Ⅱ／Ⅲ	2015年内の申請予定
AKP-007（消化管ホルモン分泌抑制剤） 内分泌・消化器領域				申請

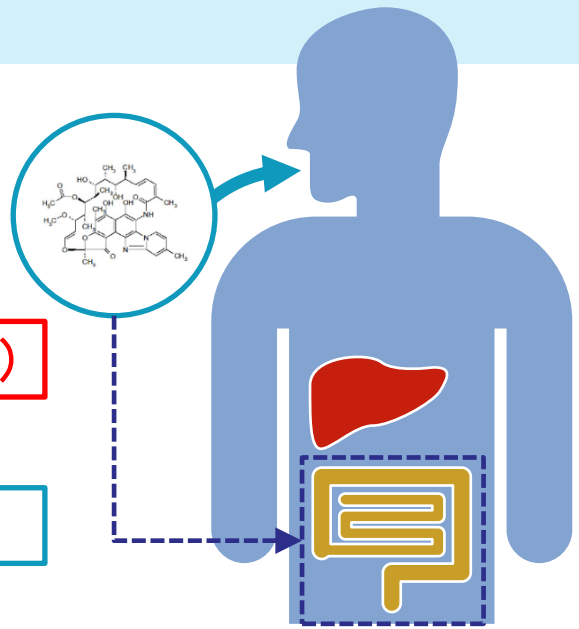
【トピックス】 L-105（リファキシミン）の概要

- Alfa Wassermann社（イタリア）から導入した難吸収性抗菌薬
- 欧米を中心に世界約60カ国で承認

① 肝性脳症（オーファン指定） → 国内開発中（あすか）

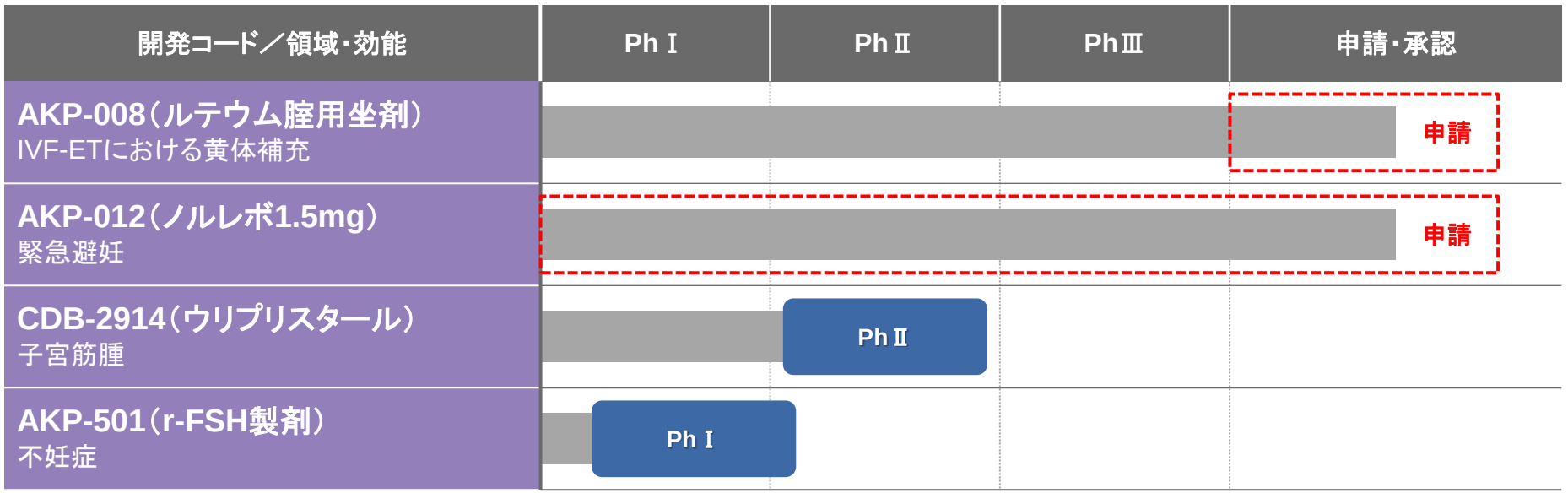
① IBS（過敏性腸症候群）
② IBD（クローン病）
③ 細菌性膣炎
→ 海外開発中

※ 旅行者下痢症でも適応症有り



次期新製品の開発促進（産婦人科）

研究開発の状況（2015年5月現在）



【トピックス】 AKP-008（ルテウム膣用坐剤）について

- 不妊治療における体外受精－胚移植後の着床、妊娠の維持のために補充される黄体ホルモン剤
- 近年、体外受精胚移植等の回数は増加傾向にあるため、医療ニーズのある薬剤であり、あすか製薬の産婦人科領域ラインナップ拡充につながる

次期新製品の開発促進（泌尿器科）

研究開発の状況（2015年5月現在）

開発コード／領域・効能	Ph Ⅰ	Ph Ⅱ	Ph Ⅲ	申請・承認
AKP-002（PDE9阻害剤） 前立腺肥大症に伴う排尿障害等		Ph Ⅱ	（アステラス製薬へ導出）	

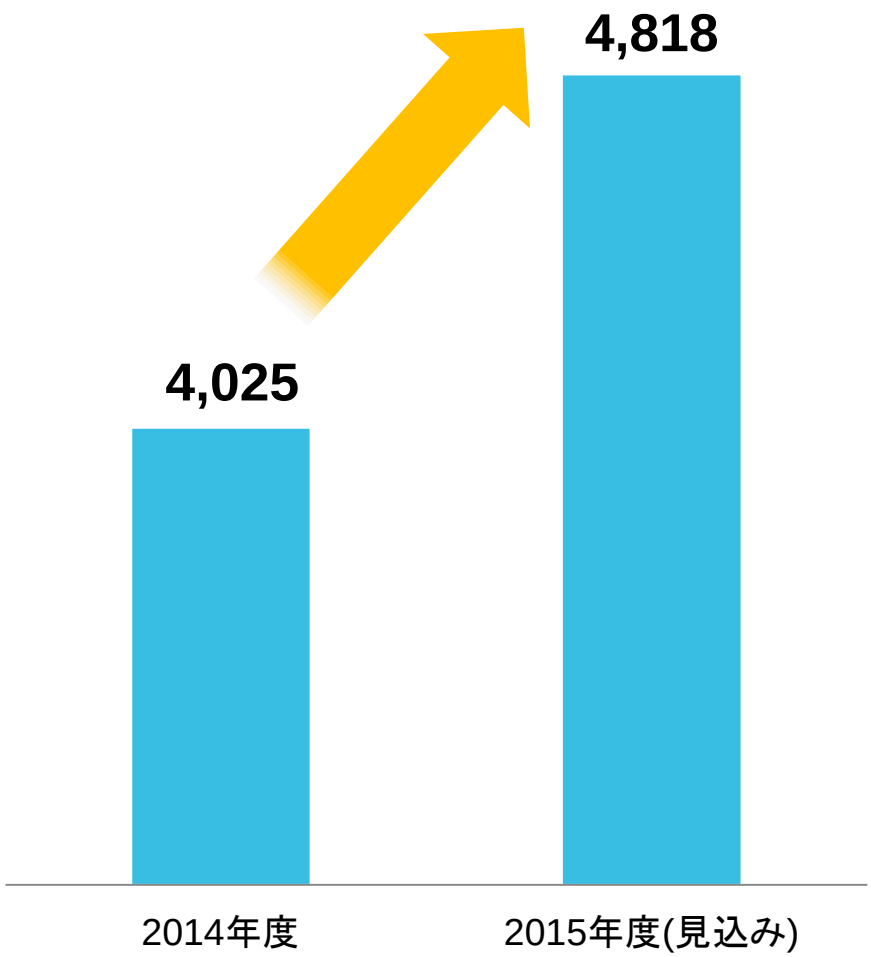
領域戦略の課題・対策

■開発パイプラインの拡充



研究開発費の推移

単位：百万円



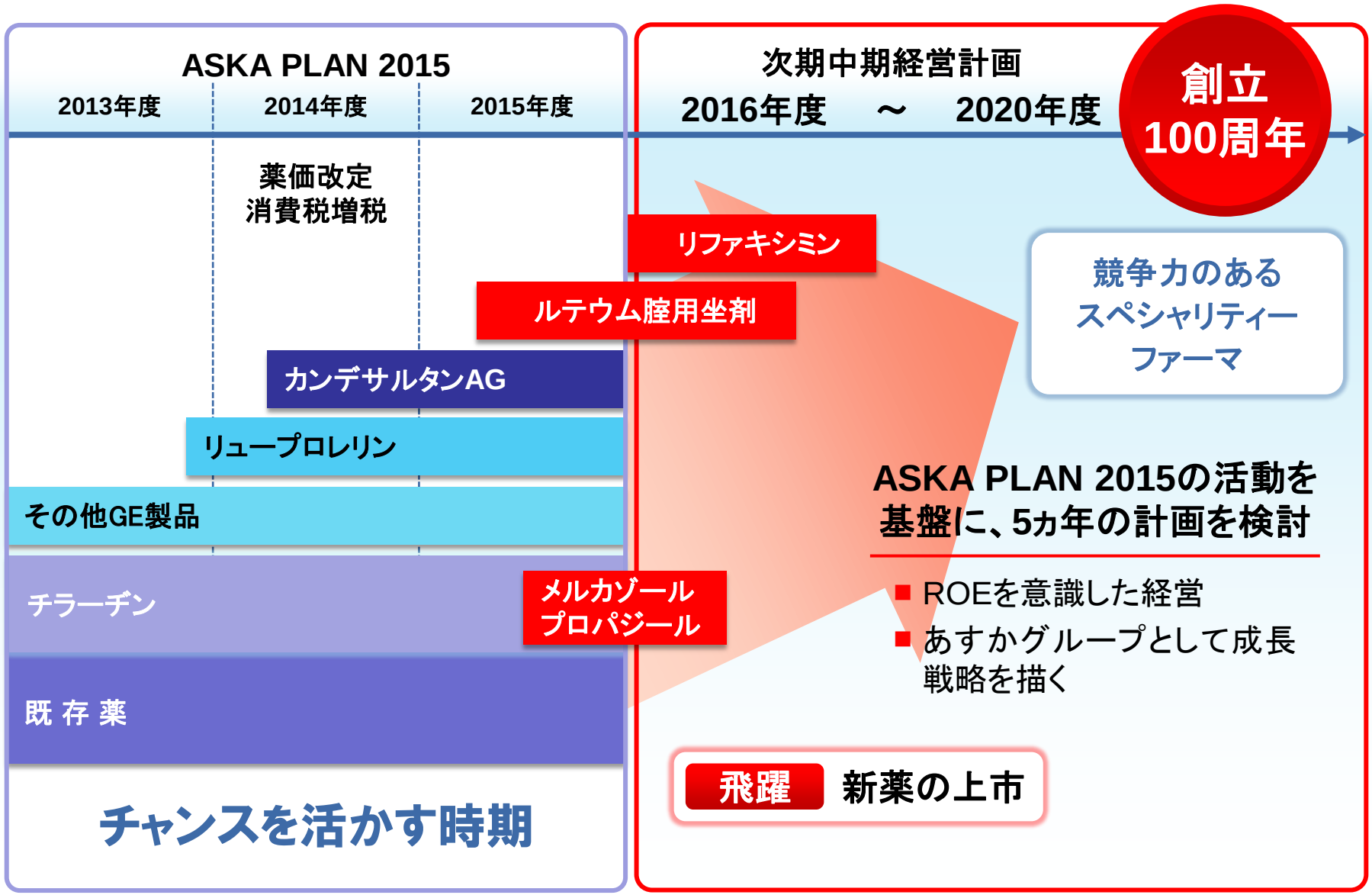
主な増加要因

- **臨床試験費用の増加**

  開発後期の品目数増加による試験費用

次期中期経営計画に向けて

次期中期経営計画の方向性



この先の輝く未来へ



10th Anniversary

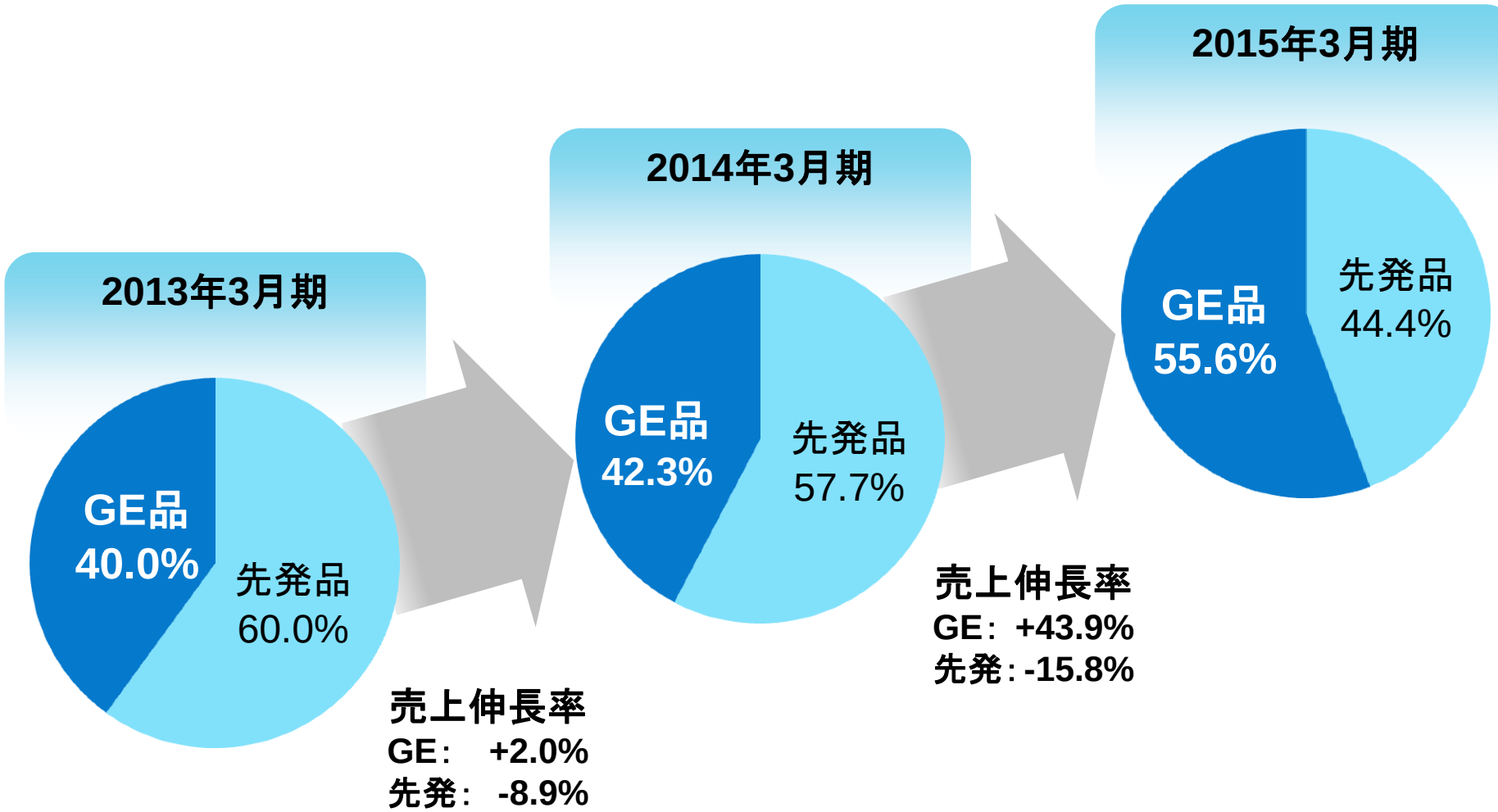
先端の創薬を通じて、

人々の健康と明日の医療に貢献する

あすか製薬株式会社

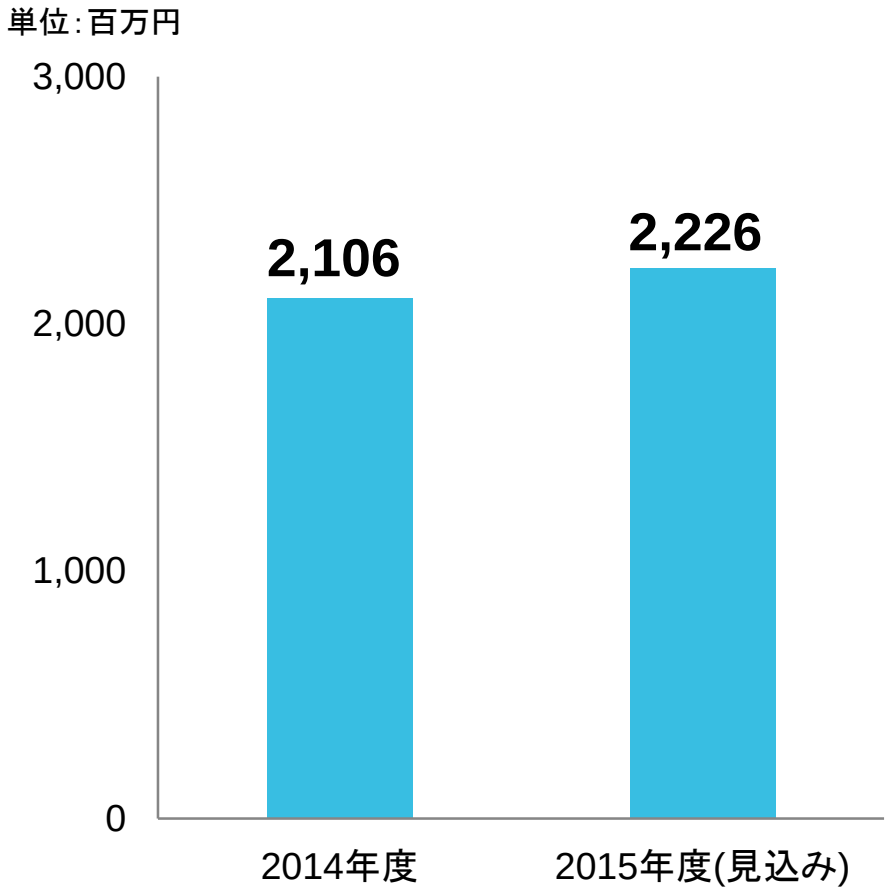
ASKA Pharmaceutical Co., Ltd.

ご参考：医療用医薬品の売上構成比・伸長率

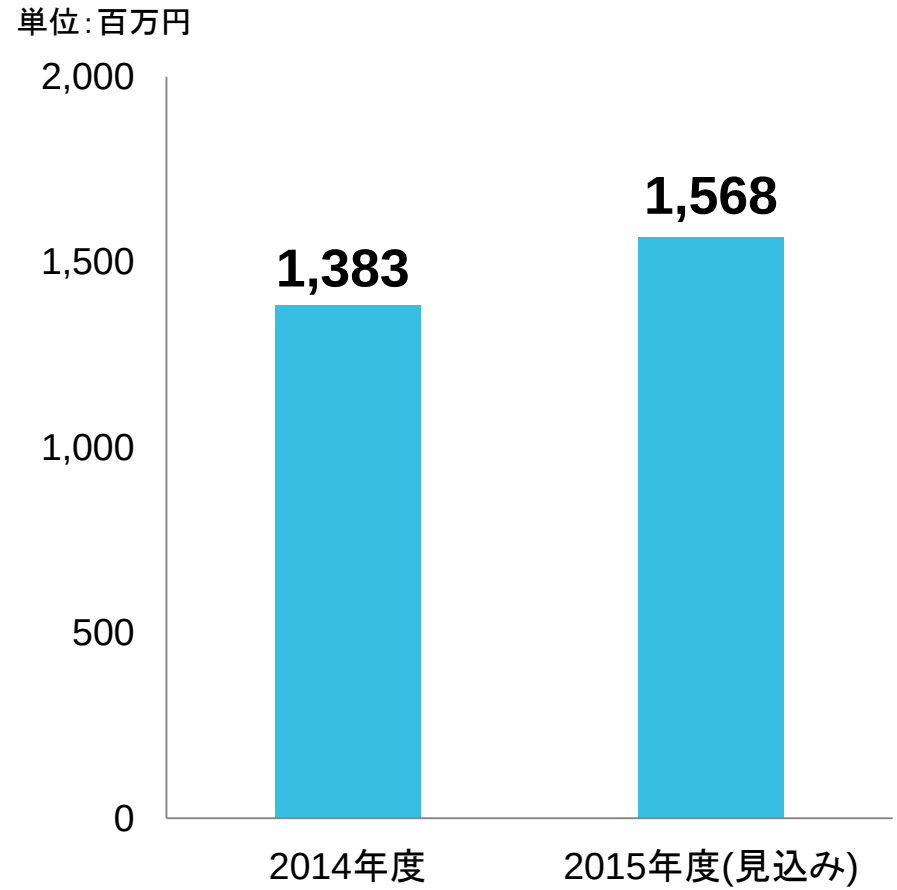


ご参考：設備投資・減価償却費・内製化実績

設備投資



減価償却費



内製化の推進　2014年度実績：2成分　2015年度予定：3成分

- この資料に含まれる将来の予測に関する事項は、発表日現在において入手可能な情報による当社の仮定および判断に基づくものであり、既知または未知のリスクおよび不確実性が内在しております
- したがって、実際の業績、開発見通し等は今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき願います
- 医薬品（開発中のものを含む）に関する情報が含まれておりますが、その内容は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません

お問い合わせ先

経営企画部

Tel　：03－5484－8366

e-mail：kouhou@aska-pharma.co.jp

